

平成 27 年度 施策評価シート

	作成日	H28.11.30
基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～ 分野3 人をつくり、地域を守るまちづくり ～
政 策	1	創意と活力に満ちた心豊かな教育環境づくり
基本方針		新しい時代を担う子どもたちが、変化の激しい社会を生きぬくため、創意と活力に満ちた特色ある教育環境を整備するとともに、心豊かな人間性を培う教育を推進します。また、地域資源を教育教材として活かしたふるさと教育など地域に根ざした教育を推進します。

基本施策	1-3-1-①	幼児教育の充実
主管課名	学校教育課	所属長名 中 村 孔 一
関係課名		
1 次評価	基本施策の評価	
	<p>○幼・保一体化に伴う施設の適正配置、地域の実情に応じた幼児教育、小学校と連動した教育体制づくり</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・適正化計画に基づき、幼稚園の適正配置を行うと共に、小学校の各種行事や地域の行事に積極的に参加し、ふるさと教育などの取組みを行っている。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・園児数及び園数が減少していく中、幼稚園、保育所、認定こども園及び小学校が今以上に連携を密にする必要がある。</p> <p>■今後の取組方針 ・小学校児童の減少に伴い、今後学校区が変更される可能性があることから、地域の実情に即したきめ細やかな連携を行っていく。</p>	
	<p>○幼稚園教諭等の指導力や資質向上のための各種講演会や講座・研修等の充実</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・幼児教育の充実発展のため、各幼稚園で研修会を開催したり、また島外で開催される各種研修会に積極的に参加している。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・県内の公立幼稚園が減少し、研修会の機会が少なくなっている。</p> <p>■今後の取組方針 ・県内の公立幼稚園が減少し、研修会の機会が少なくなる中、私立幼稚園や認定こども園が開催する研修会等に参加し、教諭等の指導力や資質の向上を図ると共に、幼児教育の充実、推進を行っていく。</p>	
	<p>○就学前教育に対する保護者への理解と意識高揚などの就園支援</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・各幼稚園が保護者との懇談会や地域の人々との交流会を通じて、幼児教育の重要性についての周知活動を行っている。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・子ども子育て支援制度の下、幼児教育の必要性について、各幼稚園、保育所及び認定こども園が共通意識を持つ必要がある。</p> <p>■今後の取組方針 ・子ども子育て支援制度の下、各幼稚園、保育所及び認定こども園が連携して幼児教育の必要性について、保護者の理解を深めていく。</p>	
2 次評価	<p>幼児教育の充実に向けて、各関係職員においては幼保小連携の必要性は理解できているため、職員の連携や子ども達の交流など、より良い環境を提供できるよう一体となって取り組む仕組みづくりを検討していくこと。</p>	

基本施策	1-3-1-②	義務教育の充実	
主管課名	学校教育課	所属長名	中 村 孔 一
関係課名			
1 次評価	基本施策の評価		
	○教育の目指すべき姿やその実現に向けた「新上五島町教育振興基本計画」の定期的な見直し ■平成27年度の取組概要 ・第2次新上五島町教育振興基本計画（平成28年度～平成32年度）を策定した。 ■評価（問題点とその要因） ・今後5年間の新上五島町教育振興基本計画を策定して、教育の目指すべき姿やその実現に向けた内容に見直した。 ■今後の取組方針 ・第2次新上五島町教育振興基本計画に沿った教育の推進を図ると共に、今後、平成33年度に向けて第3次新上五島町教育振興計画の策定を進めていく。		
	○心豊かな人間性を培う学習環境づくりと学習態度の育成を図るための、道徳教育の充実、一人ひとりに寄り添う児童生徒指導の充実、交流学习や体験学習の推進 ■平成27年度の取組概要 ・新上五島町教育委員会指定の奈良尾中学校の道徳教育研究を推進し、その成果を全小中学校で共有した。生徒指導担当職員を全校から招集し、年2回の研修会を開いた。 ■評価（問題点とその要因） ・本町独自の交流学习、体験学習のマニュアル、受け入れ先等の一覧など、各学校が独自で持っている情報が共有されれば、より充実した体験学習、交流ができると思う。また、Web版社会科学習ノートの充実、見直しも課題である。 ■今後の取組方針 ・保護者、教職員、児童生徒、それぞれに専門性を持った外部講師を招いての講話、授業等を充実させる。 ・本町内の諸芸、諸技術に長けた方々をリストアップして、各学校へ提供し、交流学习、体験学習の充実を進める。		
	○生涯にわたって生き抜く体力や健康づくりの基礎を培うための、体育授業や部活動の充実、自ら心身の健康に関心を持つ態度を養う保健・食育の推進 ■平成27年度の取組概要 ・全小中学校、体力向上アクションプランを策定し、その実現のために実践を進めている。町教育研究会保体部会において研究授業を実施し、体育授業の在り方について助言を行った。また、中学校体育連盟の運営や予算等に指導や助言を行い、町内中学校の運動部活動の活性化を図った。栄養教諭・学校給食担当者合同研修会では、管内小・中学校の食育推進のための指導や助言を行った。 ■評価（問題点とその要因） ・中学校の運動部活動は、生徒数減少に伴い、団体種目の編制が難しくなっている。各中学校の部活動編制や大会開催の規模などを考える時期にある。 ■今後の取組方針 ・平成28年度から給食センターが4施設から3施設となる。それに伴い、ブロックでの栄養教諭の食育指導が広域になる。管内小・中学校の食育計画実践において、課題を出し合い、次年度へ向けて計画を再構築する。		

	<p>○地域に根ざした特色ある学校教育の中で、生命を大切にしたり、美しいものに感動したり、他人のことを思いやる豊かな心を育てる教育の推進</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職及び教務主任対象の研修会において、平成30年度から始まる新課程による道徳科の内容等の研修を行った。 ・町教育委員会指定の奈良尾中学校の道徳教育研究会への継続的指導とその啓発を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町指定の奈良尾中学校の道徳教育研究を深化させていく。 ・町内の各学校の児童生徒数が減少し、ほとんどが単学級になっている。固定化、序列化された集団をどうスクラップアンドビルドしていくかを全町の課題とすべきである。個性の尊重、集団活動の充実と共に、児童生徒の耐性をつけていかなければならない。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町指定の奈良尾中学校の道徳教育研究の深化、他の小中学校への浸透をより充実させていく。 ・生命尊重、いじめ根絶等への生徒会活動の取組の充実を進めていく。また、外部講師を招いての講話、授業の機会を増やす。
2次評価	<p>○特色ある学校教育の実現に向けた研修会や指定研究等の充実、教職員の資質・指導力向上と児童生徒の学力向上</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に本町で開催される長崎県小学校特別活動研究大会準備に向けての指導・助言を行い、町内の小中学校挙げての大会成功に向けての啓発活動を行っている。 ・魚目小学校の県指定の国語科研究、北魚目小学校の町指定の複式研究、奈良尾中学校の道徳教育研究及び4小中学校の学校訪問による授業参観、個別指導による指導力向上を図った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定研究の在り方、方法を見直し、教諭の授業力向上を強化する。また、その指導をするための教科指導員を新たに増やし、その指導力向上を進める。 ・学力向上のためのPTA、地域への啓発を進め、その推進のための管理職の研修会における指導を強化する。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定研究の方法、内容について見直し、検討をする。具体的には、小学校極小規模校（複式研究）、小学校、中学校の3校体制とし、必ず、複式研究が入るようにする。また、学校訪問については、教科指導員の質的向上を図り、町教委主導で指導内容の充実を図る。保護者、教職員への学力向上の研修会を開き、PTA活動の充実を図った上で児童生徒の学力向上を推進する。 <p>学校は、団体生活の中で、思いやる豊かな心を育て将来にわたり必要な知識を習得する場であるため、教育振興基本計画に沿って、魅力ある学校づくり、信頼される学校づくりが実現できるよう、学校間・教師間の連携体制の充実を図り、学びの質を高め、学び続ける意欲を育てる学校教育を推進していくこと。</p>

基本施策	1-3-1-③	教育環境の整備	
主管課名	学校教育課	所属長名	中 村 孔 一
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○子どもたちが安全で安心して学べる教育環境にするための校舎や体育館等の学校施設の整備、老朽化した教職員住宅の改修・改善など住環境の確保</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・上五島中学校非構造部材等耐震化工事を始め、各小中学校施設の整備及び老朽化した教職員住宅の解体、修繕を行った。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・学校施設の整備、老朽化した教職員住宅の解体、改修・改善を行い、安心・安全な教育環境整備のため、年次計画に基づき事業を進める必要がある。</p> <p>■今後の取組方針 ・学校施設整備計画、教職員住宅ストック計画に沿って施設の整備、老朽化した教職員住宅の解体、改修を行う。</p>		
	<p>○グローバル化、情報化社会に対応するためのICT機器を活用した教育の推進</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・教育用・校務用パソコンを年次計画により更新すると共に、各学校において普通教室でのネットワーク環境の整備を行い、また、デジタル教科書を一部の学校で試験導入するなど、各種ICT機器を活用した教育の推進を図っている。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・ICT機器が多様になる中、教育面や財政面からの的確な機器の選定が難しい。</p> <p>■今後の取組方針 ・今後国、県のICT教育の動向を見ながら、パソコンの更新、タブレットの導入、無線LAN等の環境整備を含めて、的確な機器の選定を行いICT教育の推進に活用していく。</p>		
<p>○過疎化や少子化が進む中で、子どもたちが活気ある環境の中で教育を受けられるよう教育環境の適正化を目指し、地域住民・保護者とともに協議による施設の統廃合や小中高一貫教育も視野に入れるなど教育行政のあり方の検討</p> <p>■平成27年度の取組概要 ・平成28年度が見直し時期であるため、国、県の動向、本町の現況及び他市町の状況を調査する。</p> <p>■評価（問題点とその要因） ・幼稚園、小中学校の園児、児童、生徒数が減少する中、本町の現状に即した小中学校の統廃合は喫緊の課題である。</p> <p>■今後の取組方針 ・国、県の動向、他市町の状況を調査した結果を活用し、かつ本町の現状に即した第3次学校等適正配置計画書の策定を平成28年度に行う。</p>			
2次評価	<p>1次評価のとおりとする。学校は、子ども達の学習や生活の場であることから、常に安全と安心が確保される環境であるとともに、災害時の応急的な地域の避難所としても重要な役割を担っているため、各計画に沿って教育環境の整備を推進すること。ICT機器の活用については、授業での更なる効果的な活用を目指すため、活用研修会や関係研修会など充実させていくこと。</p>		

基本施策	1-3-1-④	教育における学校・家庭・地域の連携の推進	
主管課名	学校教育課	所属長名	中 村 孔 一
関係課名			
1次評価	基本施策の評価		
	<p>○地域の子どもを学校と一体となって育むための不登校やいじめの相談体制整備、安全確保や規律正しい生活習慣の育成などの家庭や地域との連携</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町いじめ問題等対策連絡協議会を立ち上げ、活動を推進していった。関係機関の連携が構築された。 ・いじめ等対策支援員、スクールソーシャルワーカーの活動も充実し、各小中学校へ浸透してきている。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、不登校への取組が一部のものだけになっている。保護者、地域住民への啓発活動をより一層進めていかなければならない。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等対策支援員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの業務内容、実態をいろいろな機会、場所で紹介し、広めていく。また、気になる児童生徒、保護者へのアプローチも素早くするために、学校、関係機関との連携を強化する。また、啓発資料等の積極的発信を行う。 		
	<p>○学校・家庭・地域が連携して子どもの教育を行っていくため、学校教育活動の公開と情報の共有化</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の学校ブログが充実してきており、どの校もブログによる広報、啓発活動を実施するようになった。 ・各校の学校支援会議が定期的に開催され、連携が充実してきている。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ブログによる、学校教育活動の発信は進んできているが、個人情報の保護の面で、氏名や個人が特定できる顔写真の貼り付けなど、課題がある。 ・学校、家庭、地域の連携を更に充実させるため、コミュニティスクールへの移行を積極的に進めていく。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本町における学校情報セキュリティポリシーや基本方針を策定し、個人情報の保護について取組を進めていく必要がある。また、町の広報への発信等も進めていきたい。 		
<p>○地域資源を教育教材として活かした教育など学校と地域が連携したふるさと教育の推進</p> <p>■平成27年度の実施概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の掘り起こしが各校で進み、総合的な学習の時間、社会科でのゲストティーチャーの確保ができてきている。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定化された上に、毎年同じ施設、人がたくさんを学校を無償で引き受け、負担感も大きい。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材マップの作成、人材、協力できる事業所の掘り起こしを行う。 ・小学校中学年向けの社会科資料集（web版も含む）の改訂、活用のための啓発も視野に入れていきたい。 			
2次評価	<p>地域の方に講師として参加していただくことで、子ども達が地域のことに関心を持ち、ふるさと教育を高めていくことはもちろんのこと、学校と地域のつながり、小中高のつながりを更に深めていくため、SKG20プロジェクト事業を核として、様々な機会を通して子ども達に伝えていくとともに、地域の人材の更なる活用を推進していくこと。</p>		

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
「教育振興基本計画」 策定・見直し	目標	-	-	-	-	-	平成27年度 策定・見直 し
	実績	平成23年度 策定	平成27年度 策定・見直 し	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-
「ふるさと教育」の実 施（小学校）	目標	-	-	-	-	-	年1回以上
	実績	年1回	1回	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-
「ふるさと教育」の実 施（中学校）	目標	-	-	-	-	-	年1回以上
	実績	年1回	1回	-	-	-	-
	達成率	-	100% (100%)	-	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-3-1-① 幼児教育の充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	<p>(事業名) 通園費補助事業 【学校教育課】</p> <p>(事業目的) 廃園となった園区の園児の保護者に対し、通園費の補助を行い、遠距離通園の保護者負担の軽減を図る。</p> <p>(事業概要) 廃園となった園の園区に居住する園児の通園に要する費用の一部を補助することにより、保護者の経済的な負担の軽減を図り、修園の機会均等に資する。</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	対象園児数		
		目標値	10人		
		実績値	10人		
		達成率	100%		
		決算(見込)額	209千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	遠距離通園の保護者負担の軽減を図るため、補助対象園児数を指標とした。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 補助金申請のあった対象園児の保護者に対し補助金を交付した。</p> <p>(成果・課題等) 補助金申請のあった対象園児の保護者全員に補助金を交付できた。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	

1-3-1-② 義務教育の充実

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
1	<p>(事業名) 文化活動補助事業 【学校教育課】</p> <p>(事業目的) 町内中学校の文化活動の振興及び文化活動への保護者の経済的負担軽減を図る。</p> <p>(事業概要) 町中学校文化連盟に補助金を交付し、中学校の文化活動の振興及び文化活動への保護者の経済的負担軽減を図る。 (参加・活動実績) 長崎県吹奏楽コンクール(上五島中・有川中) 長崎県アンサンブルコンテスト(上五島中) 五島吹奏楽祭(上五島中・有川中)</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	活動件数		
		目標値	5件		
		実績値	5件		
		達成率	100%		
		決算(見込)額	500千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	中学校の文化活動の充実のため各学校の活動件数を成果指標としている。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 新上五島町中学校文化連盟に補助金を申請どおり交付した。</p> <p>(成果・課題等) 新上五島町中学校文化連盟に補助金を申請どおり交付して、中学校の文化活動の振興及び文化活動への保護者の経済的負担軽減を図った。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>	

1-3-1-② 義務教育の充実（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
2	<p>(事業名)</p> <p>体育活動補助事業</p> <p>【学校教育課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>町内中学校の体育活動の振興及び県大会出場等における保護者の経済的負担軽減を図る。</p> <p>(事業概要)</p> <p>町内で開催される中学校総合体育大会の円滑な運営及び体育活動の振興を図るため、運営にかかる経費として、新上五島町中学校体育連盟に補助金を交付する。</p> <p>また、県中総体、県新人大会への出場に対し、旅費を補助することで中学校部活動の振興、加えて保護者の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>中体連事務局運営費1,440千円 県大会等出場費補助金6,246千円</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	参加延人数	
		目標値	363人	
		実績値	363人	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	7,686千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	中学校生徒のスポーツ力の向上、活動の充実のため各学校の参加者数を成果指標としている。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>県中総体、県新人大会出場者数 若松中：55人、上五島中：92人 魚目中：35人、北魚目中：5人 有川中：159人、奈良尾中：17人</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>新上五島町中学校体育連盟に補助金を申請どおり交付して、中学校の体育活動の振興及び県大会出場等への保護者の経済的負担軽減を図った。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

1-3-1-③ 教育環境の整備

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	<p>(事業名)</p> <p>高等学校部活動振興等補助事業</p> <p>【総務課】</p> <p>(事業目的)</p> <p>・部活動各種大会での活躍等、生徒の心身の健全な発達に資することを目的として、町内の高等学校2校に対し補助金を交付し活動を援助する。</p> <p>(事業概要)</p> <p>部活動振興等補助金 ・上五島高等学校 1,530千円 ・中五島高等学校 1,377千円</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	活動延べ人数	
		目標値	526人	
		実績値	690人	
		達成率	131%	
		決算（見込）額	2,907千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	活動延べ人数÷計画時における活動者予定数（2校の合計）	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>両高等学校へ補助金を申請どおり交付した。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>国民文化祭かごしま2015準優勝（上高書華道部）／インターハイ出場（上高男子4×400MR）／長崎県高校陸上競技選手権大会 男子走り幅跳び優勝（大会新 上高）／第60回記念県展入賞（上高美術部2名）</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		

1-3-1-③ 教育環境の整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度	
2	<p>(事業名) 町教育研究会補助事業 【学校教育課】</p> <p>(事業目的) 教育研修、研究、調査を行い、教職員の資質の向上及び教育の振興を図る。</p> <p>(事業概要) 新上五島町教育研究会に補助金を交付し、研修会の開催、教育研究・調査を行うことにより、教職員の資質の向上を図る。 各種教育研究費230千円 教育委員会指定研究費1,100千円（魚目・北魚目小、奈良尾中、特別支援教育グループ）</p>	実施年度	平成17年度～		
		成果指標	参加人数		
		目標値	211人		
		実績値	211人		
		達成率	100%		
		決算（見込）額	1,330千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	研修会参加者数÷研修会参加予定者数		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	町内の教職員の資質の向上を図るため研修会を開催し、211人の参加があった。	(取組実績)
			(成果・課題等)	教育研修、研究、調査を行い、教職員の資質の向上及び教育の振興を図るため、引き続き教育研究会の活動の充実を行っている。	(成果・課題等)
3	<p>(事業名) 教育施設AED設置事業 【学校教育課】</p> <p>(事業目的) 現在設置しているAEDが耐用年数を過ぎれし まうため、AEDを5年間の長期継続契約して、 教育施設の救急救命体制整備と施設利用者の安全 性の向上を図る。</p> <p>(事業概要) 教育関連施設に25台（小中学校17台、文化施設 2台、体育施設6台）を設置する。 5年間の長期継続契約とする。</p>	実施年度	平成27年度～		
		成果指標	設置台数		
		目標値	25台		
		実績値	25台		
		達成率	100%		
		決算（見込）額	387千円		
		当該年度執行率	100%		
		成果指標及び目標値の説明	教育施設の救急救命体制整備と施設利用者の安全性の向上を図るため教育関連施設のAED設置数を目標値としている。		
		取組実績、成果・課題等	(取組実績)	予定どおり25台のAEDを5年間の長期継続契約した。	(取組実績)
			(成果・課題等)	予定どおり25台のAEDを設置して、教育施設の救急救命体制整備と施設利用者の安全性の向上に寄与した。	(成果・課題等)

1-3-1-③ 教育環境の整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
4	(事業名) 教員住宅解体事業 【学校教育課】 (事業目的) 教員住宅は、建築後30年から40年経過している施設が多い。特に老朽化が著しく入居不可能な施設について、近隣住宅への影響等も考慮して計画的な解体を行うものである。 (事業概要) ・平成28年度 教員住宅1戸解体予定 ・平成29年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成30年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成31年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成32年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成33年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成34年度 教員住宅2戸解体予定 ・平成35年度 教員住宅2戸解体予定	実施年度	平成20年度～平成35年度	
		成果指標	教員住宅解体棟数	
		目標値	2棟	
		実績値	2棟	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	2,794千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	建築後30年から40年経過している施設で老朽化が著しい入居不可能な教員住宅の解体棟数を成果指標とし、当該年度の解体棟数を目標値とする。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 計画どおり2棟を解体した。 (成果・課題等) 2棟の老朽施設の解体を実施し、教員住宅に係る維持管理費用の削減され、また、周辺環境への影響も緩和され、安全安心な住民生活を確保できた。	(取組実績) (成果・課題等)		
5	(事業名) 東浦小学校手摺設置事業 【学校教育課】 (事業目的) 平成26年度入学の肢体不自由児が進級するにあたり、活動範囲が広がることにより校舎特別教室、運動場へ手摺を設置し、安心で安全な教育環境を整備する (事業概要) 平成27年度 東浦小学校手摺設置工事 1.0式	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	設置施設数	
		目標値	1箇所	
		実績値	1箇所	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	1,382千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	肢体不自由児等が就学する学校数を成果指標とし、当該年度の設置学校数を目標値とする。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 肢体不自由児等にとって危険と思われる箇所への手摺を設置した。 (成果・課題等) 危険と思われる箇所への手摺の設置を実施し、安心で安全な教育環境の整備が図られた。	(取組実績) (成果・課題等)		

1-3-1-③ 教育環境の整備（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
6	<p>(事業名) 中学校施設非構造部材等耐震化事業 【学校教育課】</p> <p>(事業目的) 致命的な事故が起こりやすい屋内運動場等の吊り天井等の非構造部材等の落下防止対策として、上五島中学校武道館の吊り天井を撤去し、耐震化を図ることにより、安心して安全な教育環境を整備する。</p> <p>(事業概要) 上五島中学校武道館非構造部材等耐震化工事を施工する。</p>	実施年度	平成27年度～	
		成果指標	耐震化改修施設数	
		目標値	1箇所	
		実績値	1箇所	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	15,196千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	非構造部材の耐震化改修を実施する施設数を成果指標とし、当該年度の改修施設数を目標値とする。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 上五島中学校武道館非構造部材等耐震化工事を実施した。</p> <p>(成果・課題等) 吊り天井等の非構造部材等を撤去したい進化を図ることにより、安心して安全な教育環境の整備が図られた。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		
7	<p>(事業名) スクールバス更新事業 【学校教育課】</p> <p>(事業目的) 年次計画により老朽化したスクールバスを更新し、児童生徒の登下校の安全かつ安定した通学手段の確保を図る。</p> <p>(事業概要) 奈良尾地区のスクールバス1台を更新する。</p>	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	更新台数	
		目標値	1台	
		実績値	1台	
		達成率	100%	
		決算（見込）額	23,436千円	
		当該年度執行率	100%	
		成果指標及び目標値の説明	児童生徒の登下校の安全かつ安定した通学手段を確保するため、更新台数を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 奈良尾地区のスクールバス1台を更新した。</p> <p>(成果・課題等) 老朽化した奈良尾地区のスクールバス1台を更新し、児童生徒の登下校の安全かつ安定した輸送手段を確保することができた。</p>	<p>(取組実績)</p> <p>(成果・課題等)</p>		